

平成21年度 第3回 鳥取市生活交通会議
議事要旨

1.日時	平成21年7月21日(木)、10:00~11:30			
2.場所	鳥取市役所 本庁舎4階 第3会議室			
3.出席者				
会長	[学識経験者]	鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授	谷本圭志	
副会長	[鳥取市]	都市整備部長	田中政幸	
委員	[住民・利用者代表]	市自治会連合会(旧鳥取市,国府町,福部町)	小原保	
		"(河原町,用瀬町,佐治町)	谷上學	
		"(気高町,鹿野町,青谷町)	田中勝昭	
		市老人クラブ連合会(旧鳥取市,国府町,福部町)	前田豊	
		"(河原町,用瀬町,佐治町)	岡村博之	
		"(気高町,鹿野町,青谷町)	三谷忠俊	
		市連合婦人会	油谷都々江	
		[運送事業者]	日ノ丸自動車株式会社 取締役営業部長	中村芳晴
			日本交通株式会社 バス営業部次長	中嶋敬治
			西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸科長	三谷宏志
	[運送事業者労組]	私鉄中国地方労働組合 日ノ丸自動車支部 執行委員長	小谷実	
	[中国運輸局]	鳥取運輸支局 首席運輸企画専門官	但住和雄	
	[警察]	鳥取警察署 交通第一課長	岡本英治	
事務局	鳥取市都市整備部交通対策室(中村、鈴木、遠藤)			

協議事項

(1)湖山周辺循環バスの実証運行(案)について(資料1)

【事務局が説明】

谷本会長	湖山地区は住宅がたくさんある。バスは鳥取方面に向かうが、住民はマイカーで湖山街道に行く。路線バスのニーズがずれているのではないかとこの仮説に基づいて湖山が事業として挙げられている。
小谷委員	対象者は主に一般で学生等は対象外と考えられているのか。8時で高校をはじめとした学校は間に合うのか。通勤・通学のニーズはどうか。
事務局	「くる梨」を参考にしている。住民のご意見を聞きながらダイヤ設定をしていきたい。
谷本会長	通勤・通学で使う人は少ないと思われる。歩いて近いところに学校がある。逆に乗るとすれば一台では足りない。車両の制約通学は主眼におかなくて良いのではないか。そのような整理になると思われる。
小原委員	住民に対する広報・PRのやり方はどのように行うか。意見交換会のやり方についても伺う。また、事業者の利益性はいかがか。
事務局	広報は、各世帯にチラシを配布したいと考えている。主要駅にもチラシを置きたい。説明会は各自治会長さんに説明し公民館等説明会を開催し皆様に参加していただけるようにしたい。
中村委員	事業者としての収益性は年間500万円という報告があったが届かないと思う。また、500万円で賃金・車両の管理で収益は得られない。「くるり」についても助成を貰っている。努力はするが助成をいただきながらの運行となると思われる。
谷本会長	PRを充実させてほしい。伝統的なルートもいいが商店や病院に協力していただいているケースもある。そういったPRの仕方の動機づけとした実証運行として欲しい。
事務局	病院・商店等にも案内を置くようにしていきたい。

- 中村委員 料金は収益性を考えると高い方がいいと考える。他自治会のバスも100円だったものが150円になっている。高くしても収益としては変わりはない。継続していくうえでは200円くらいが適当と思う。
- 事務局 初乗りが160円。切りは100円が良いが安すぎる。実証運行期間中は150円でやっていきたい。あくまで初乗り160円を参考にしている。
- 前田委員 定期等の利用はできないのか。
- 事務局 実証運行期間中であり考えていない。人数の把握もしたい。
- 田中副会長 湖山駅と鳥取大学前駅のJRと接続している。乗り換えるといくらになるのか。定期等の利用ができないとのことだが使わない場合に実験にどういう影響を与えるのか。
- 谷本会長 JR180円・バス150円で合計330円。バス一本で行った方が安い。
- 田中副会長 定期等が使えないことにより乗る人が減るのではないかと。一世帯あたりの人員が少ない。高齢化が進んでいると思われる。定期の利用はあった方がよいのではないかと考える。
- 中嶋委員 高齢バスは事業者が行っている乗降調査で分かるのでそれを参考にされたらどうか。
- 谷本会長 定期等の利用ができないのはどうしてか。
- 事務局 実際の利用者数をカウントするのに分かりづらい。くる梨も使用できないこともあり実証運行期間中は外している。
- 田中副会長 その辺りが理由としては大きい。バスとの乗継は考えていないのか。
- 事務局 JRのみの接続を考えている。バスとの初乗り運賃が発生し高くなる。
- 谷本会長 買い物・病院は湖山街道で済む。JRとの乗継で生活は足ると思われる。バスとバスの乗継はあまり想定されないと思う。そのような定義で住民説明を行ってほしい。
- 中嶋委員 運行は30分に1本だが待機する場所もある。バス停の間隔等はどうなっているのか。
- 事務局 待機スペースのため湖山からの出発を考えている。待ち時間はあまりない。20分～30分程度の運行だと思う。バス停は湖山駅～鳥大駅間は既存のバス停を予定している。縦線は病院の近く等への新設も考えている。
- 谷本会長 この案で住民説明会を行うということによろしか。
- 一同 異議なし

(2) 乗合タクシーの実証運行(案)について

米里越路線について

【事務局が説明】

- 谷本会長 病院が乗継拠点であるということと、ダイヤの選択肢はたくさんあり案を説明会で提示して、他の乗継便にダイヤを設定していただけるということ。そういう意味での選択を提案し、乗り継ぎや予約等の不便だけでなくいいこともあるという実証運行路線であると理解している。そういう位置づけでご理解いただきたいと思う。
- 中嶋委員 雲山日交、市立病院ということだが市立病院に行ってから雲山日交通か。
- 事務局 そう予定している。(鳥取方面は雲山に行ってから市立病院。越路方面は逆)
- 中嶋委員 バスは市立病院発が多い。その辺りを考えておいてほしい。
- 事務局 鳥取駅方面への運賃と雲山日交の便数が多いこと、また雲山日交で待ちあいができると考えてこのルートにしている。
- 中嶋委員 雲山日交は車庫にならない。道路を挟んだ反対側が乗場になる。そのまま市立病院から乗った方がいいと思う。
- 事務局 検討させていただきたい。
- 谷本会長 市立病院でタクシーから乗換をしたら初乗り料金を支払わなくてもいいというようなことができないか。
- 事務局 バス タクシーのケースもあり現段階では困難だと考えている。
- 中嶋委員 越路～鳥取駅はいくらか。
- 事務局 360円。タクシーと乗り継いだ場合50円高くなる。

谷本会長 ダイヤを選んでいただくのは本当にできるのか。
事務局 可能である。
谷本会長 タクシーにするメリットはそこにあると思う。地域の問題として話し合ってもらえたらと思う。その趣旨を説明して説明会を行ってほしい。
谷本会長 本件、事務局案で説明会を行ってもよろしいか。
一 同 異議なし。

浜村青谷線について（資料3）

【事務局が説明】

谷本会長 乗合交通でなくても良いと思われるデータがでている。そういった地域かと思われる。
事務局 乗継の不便ができるので、それを緩和するために土日運行と上限運賃を200円にすることで利便性の確保を考えている。
田中副会長 現在、浜村 青谷間に乗車している人はどういった利用か。
事務局 青谷駅から浜村駅までバスで来られて中央病院に行かれる方や、またJRに乗り継ぐために利用されておられる方がいる。
田中副会長 乗継運賃はどうなっているか。
事務局 100円の割引があるようだ。
田中副会長 JRとの乗継割引はないのか。乗継についてどのように考えているか。
事務局 タクシーとバスの乗継になり困難であると考えている。そのため、便数を増やしたり長距離区間の運賃の上限を下げ緩和したいと考えている。
田中副会長 将来的にはデマンド交通の可能性があるとのことだが、なぜ今回デマンドで実証運行をしない運行してみて、ご意見をお聞きしながらデマンドにしていくものと考えている。
田中副会長 現在の利用状況を見れば分かる。
事務局 住民の皆様にごダイヤを設定していただきながらデマンドにしていきたい。1か月運行すれば傾向も分かってくると思う。
谷本会長 タクシーで定路線型でとりあえずやってみるということだが、実態を見ていただいて、本来どういった交通が必要かということ。料金を払ってでもドアツードアがいいということもあるかもしれない。その辺りが良く見えないところもある。データを見るとデマンドを前提に、もう一步話を踏み込んでみても良いのではないかと考える。
岡本委員 乗合タクシーの時間帯、場所、利用しない理由も聞いてみてはどうか。
事務局 デマンドの提案を行いたいと考えている。
谷本会長 よろしければ、デマンドを踏まえた事務局案で説明会を行ってもよろしいか。
一 同 異議なし。

4. その他

小原委員 前回の「空港 砂丘間の乗り合いタクシー」条文の根拠をお願いした。説明資料が送られてきたが法的根拠がなかった。
事務局 運輸局公示をお示しさせていただきたく思うがよろしいか。
但住委員 基本的には道路運送法である。平成18年に法改正があった。その中でバスだけでは公共交通が賄えないということでいろいろな事業のやり方が出てきた。運営協議会で協議が調ったものについては利用していただける。運輸局公示ももとは道路運送法である。条文等はまた報告させていただく。
谷本会長 構造的なもの含めてお願いしたい。

以上